

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	職員採用事務事業	コード	担当課係	総務部総務課職員係
		06-01-04-05	担当者	石原史章
事業実施期間	H17.3.22～			
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健全で自立したまちづくり		
	中項目	簡素で効率的な財政運営		
	小項目	人事管理		
	施策	専門知識を有する職員の採用		
電話	0869-64-1808			

事業について	
目的	市職員採用のため
対象 (誰のために)	受験者
内容	地方公務員法第15条及び職員任用規則に基づき、退職に伴う補充等のため実施する職員採用試験。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
受験者数	170 人		
採用者数	29 人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	447	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,345	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	2,792	一般財源等	2,792	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.30	人		
結果指標名	受験者			
結果指標量	170			
単位	人			
対前年比	—			
事業費	2,317,000	円		
単位当たりコスト①	13,629	円		

結果指標名	採用者			
結果指標量	29			
単位	人件費			
対前年比	—			
事業費	475,000	円		
単位当たりコスト②	16,379	円		

事業の成果			
成果指標名	単位当たりコスト	式又は説明	採用試験に係る経費 (事業費合計/受験者数)
成果指標量	17年度 13,629		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	なし	到達目標年度	なし

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	法の規定に従い、職員の任用は、採用試験の成績など能力の実証に基づいて行っている。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
	市の関与の妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	採用予定数はその年度の採用計画により職種、人数が異なり、受験者は、職種、採用予定人数、景気の動向等に左右されるなど、年度によりばらつきがある。平成17年度は病院職員の採用試験にも関与したことで、従前からの業務量と比較して増加している。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	職員募集は、合併を控える必要最小限の職種としているが、病院職員や保健師の増に伴う受験回数が増え、受験者が増加している。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	法の規定に従い、職員の任用は、採用試験の成績など能力の実証に基づいて行われている。優秀な人材を採用するという観点から採用試験に多くの受験者が集まるよう工夫する必要がある。	C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	職種の多い病院職員の採用業務に関しては、病院へ事務を移管した。	平成18年度	計画的に採用事務を行うことができる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。